



高石市内の駅周辺のまちづくり

高石市では「南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業」が進められ、令和6年4月に高架化が完了し、分断されていたエリアが一体となったこの機会を活かし、「高石駅」及び「羽衣駅」周辺エリアの整備を進めています。

■高石駅周辺整備について

高石駅前広場は連立事業に併せて、駅前広場（東側）に芝生広場を造設するなどの整備を行いました。今後は駅前広場の利用を促進や北側高架下の整備等を予定しています。



■羽衣駅周辺整備について

羽衣駅の周辺エリアは、高架化が完了し、東西のエリアが一体となったこの機会を活かし、令和6年度に整備に向けた基本計画の策定をしました。

今後、まずは基本計画の策定に掲げている「羽衣らしさを大切にしまちづくり」の実現に向けた第一歩として、東西の駅前広場及び周回道路の整備に着手します。

西側の広場には芝生広場を造設するなど“動の空間”をめざし、東側広場では並木道など木陰のある滞留空間とした“静の空間”をめざした整備を検討しています。



■羽衣駅周辺整備の今後の事業の進め方

羽衣駅については令和7年度（2025年度）に駅前広場及び周回道路の実施設計に着手いたします。その後、工事に着手し、令和10年度中の完成をめざしております。



■民間企業や市民に期待することなど

市民の皆様には今後引き続き駅前広場等の仕様や管理方法等について、ご意見を賜りたく存じます。

民間企業の皆様におかれましては駅前広場の活用や、周辺の市所有の遊休地に関するご提案などをお待ちしております。

浜寺水路周辺エリアの活性化の取組みについて

～遊休施設の活用と公民連携による砂浜活性化プロジェクト～

■遊休施設の活用について（旧市民会館・図書館の活用）

平成15年以降、遊休施設となっている旧市民会館・図書館の活用について、5つの活用方針として、アートシティとしての未来、スポーツシティとしての未来、健幸のまちとしての未来、インターナショナルシティとしての未来、夜景と海のまちとしての未来を掲げています。

この方針に基づいて、引き続き旧市民会館、図書館の活用に向けた調査・研究等を進めていきます。

同時に漁港内砂浜についても、市民や民間事業者と一緒に活用に向けた検討を行い、ベイエリア一帯としての活性化に取り組んでいきます。



漁港・マリナ

令和2年に漁港が市に移管された
→漁業振興、活性化
(大阪最北端の天然の砂浜の活用)

臨海スポーツセンター（大阪府）

大阪でも貴重な通年アイススケートリンク
オリンピック選手も輩出

旧市民会館・図書館

平成15年～遊休地
浜寺水路一帯での賑わいを創出するエリアとして民間事業者による活用を検討

高師浜運動場

サッカー場、野球場、テニスコート、スケボーパーク、3×3バスケットコートなどスポーツ施設が集積する拠点

■砂浜活性化プロジェクトについて

高石市には、大阪府下最北端の天然の砂浜があります。

これまでも毎年、この砂浜において稚魚放流イベントを行っており、令和6年には高石市砂浜活性化イベントを実施し、今後の活性化について参加者にアイデアを募るワークショップやキジハタの稚魚放流の他、水質改善のため「海の掃除屋」とも呼ばれるナマコの放流も行いました。

また、本市が今後、積極的に取り組んでいきたい公民連携の一環として、同時に開催されるボランティア団体による砂浜清掃、民間団体によるマーケットイベントとも連携し、歴史ある高石市の砂浜や大阪の海への愛着を育み、地域や自然環境について考えるきっかけづくりになるイベントをめざします。

今後についても、さらに多様なプレーヤーに参画いただき、公民連携の要素を強めながら、今回募ったアイデアを元に水辺の環境改善や振興に向けた取組を行っていきたく考えています。



■民間企業に期待することなど

民間事業者による賑わい・集いのエリアとしての活用が実現することができれば、雇用と消費を創出することができ、ベイエリア一帯の稼ぐ力を高めることができます。砂浜や、浜寺水路についても他の地域にはない魅力が詰まっているので、エリア全体での包括的な活用をしていただければと考えています。